

## 平成28年度伝統的工芸品産業功労者等表彰受賞者の概要

### <経済産業大臣表彰>

#### 【組合役員】

- ・越前焼 司辻 光男（越前町 69歳） 越前焼工業協同組合

正副理事長として22年にわたり越前焼の普及・拡大に努めたほか、技能者育成のための積極的な指導を行い、各種展覧会において多数の入選者を輩出。

#### 【伝統工芸士】

- ・越前焼 武澤 信雄（越前町 72歳）

金べらや竹べらを用い、1本1本丁寧に刻み込まれ加飾された線（線刻門シリーズ）が作品の特徴。日本伝統工芸展に入賞するなど、越前焼の普及に大きく貢献。

- ・越前和紙 柳瀬 徹二（越前市 70歳）

「薄紙楮紙」の制作を得意としている。県伝統工芸士会連合会会長や近畿伝統工芸士会副会長を務めたほか、小学校で卒業証書漉きの技術指導を継続して実施。

### <近畿経済産業局長表彰>

#### 【組合役員】

- ・越前漆器 土田 直（鯖江市 77歳） 越前漆器協同組合

正副理事長として12年にわたり越前漆器の普及・拡大に努めたほか、学校給食用に食洗機対応の漆食器の研究開発に尽力。漆器技術を結集した山車を製作し技術力をPR。

- ・越前打刃物 加茂 詞朗（越前市 58歳） 越前打刃物産地協同組合連合会

正副理事長として8年にわたり越前打刃物の普及・拡大に努めたほか、毎年ドイツで開催される世界最大の見本市展に産地の製品を出展し、国内外を問わずに販路開拓に尽力。

- ・越前打刃物 増谷 浩司（越前市 56歳） 越前打刃物産地協同組合連合会

正副理事長として13年にわたり越前打刃物の普及・拡大に努めたほか、「モノづくり出前講座」や「インターンシップ事業」で、産地組合の担い手づくりに寄与。

#### 【伝統工芸士】

- ・越前漆器 多田 幹雄（鯖江市 75歳）

漆器製造工程の一部である角物塗りの伝統技法を継承しており、その技技能は産地内で高く評価されている。また、産地の若手職人や職人塾生を積極的に指導。

- ・越前和紙 山田ひとみ（越前市 57歳）

漉き込みなどの高度な加飾技術をベースに現在のニーズに合わせた高品質の和紙（美術小間紙等）を制作し、越前和紙の販路拡大に尽力。